

パブリックコメント等におけるご意見と対応 (6月30日12:00現在)

1. 港湾分科会委員のご意見と対応 1～2
2. パブリックコメントでのご意見と対応 3～5
3. 港湾管理者の意見と対応 6
4. 関係行政機関の意見と対応 7～8

1. 港湾分科会委員のご意見と対応①

	該当箇所※	主な意見の概要	対応
1	まえがき	目標達成年次を書いた方がよいのでは。	基本方針は港湾管理者が策定する港湾計画の適合基準でもあり、目標年次を規定するよりもむしろ、経済・社会情勢を踏まえ適時適切に変更する性格のものである。 このため、以下の通り「速やかに」という記述を追加した。 「なお、この基本方針は、今後の経済・社会情勢の推移等を勘案しつつ、必要に応じて 速やかに 見直しを行う。」
2	I 編 1 章(1) ①国際海上コンテナ輸送網の強化 (P5)	東日本大震災を受けても国際海上コンテナ輸送については「選択と集中」を進めるべきだと思うが、東日本大震災を踏まえた記述をしなくてもよいのか。	ご指摘を踏まえ、「 その際には、大規模災害時に一定の基幹的な国際海上コンテナ輸送機能が確保されるよう防災上の配慮を行う。 」という記述を追加した。
3	I 編 1 章(2)臨海部の産業立地・活動環境の向上 (P9) 4 章①地域の活力を支える物流、産業空間の形成 (P17)	東日本大震災を受けて国内にとどまるかどうか迷っている企業がある。産業を国内にとどめるためのメッセージを早く打ち出す必要があるのではないか。	ご指摘を踏まえ、以下の通り記述を追加した。 【I 編 2 章(1)】 「経済のグローバル化の進展、東アジア地域の急成長、企業の国際分業の進展等の中で、製造業を中心とする企業は最適生産地を求めて、国や地域を選択する時代となり 、東日本大震災を受けてその傾向はますます強くなると考えられる。 」 【I 編 4 章①】 「港湾は、海上交通と陸上交通の結節点であり、また大規模用地の確保が比較的容易であるという特性を有している。 この特性を活かし、 地震・津波等の災害に強い 効率的で高度な物流空間や国内外からの産業立地や設備投資を促進するための産業空間を形成する。」
4	I 編 1 章 (3)港湾の利便性、船舶航行の安全性の向上 (P10)	「(3) 港湾の利便性、船舶航行の安全性の向上」のタイトルは現行基本方針の①、②がVI章に移動したことにより適当ではないように思う。	ご指摘を踏まえ、タイトルを以下のように変更した。 (3) 港湾における情報化の推進 (4) 船舶航行等の安全の確保と効率性の向上
5	I 編 2 章 ①災害に強い港湾の構築 (P13)	今般の震災により、船舶の寄港が国外にシフトし、長期間にわたる可能性もある。このため、今般の震災を踏まえた船舶の国外シフトへの対策を基本方針にしっかりと位置づけるべき。	ご指摘を踏まえ、「 港湾の利用に関する国内外への情報の発信を積極的に行う。 」という記述を追加した。

※頁数：資料3-4 新旧対照表の頁数を示す。

1. 港湾分科会委員のご意見と対応②

	該当箇所※	主な意見の概要	対応
6	Ⅱ編5章(1) ⑥海洋に関する施策の推進(P24)	南鳥島、沖ノ鳥島の離島の港湾整備を位置づけるべきではないか。	ご指摘を踏まえ、「また、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律の施行を受け、海洋資源の開発・利用、海洋調査等に関する活動を支援するため、特定離島に指定された南鳥島及び沖ノ鳥島の特定離島港湾施設の整備を図るとともに、排他的経済水域及び大陸棚の保持を図るため、港湾内に指定された低潮線保全区域における低潮線の保全を推進する。」という記述を追加した。
7	Ⅱ編2章 国際海上コンテナ輸送網の拠点(P27)	アジア航路の話と基幹航路の話に分けて書いたほうがよいのではないか。	ご指摘を踏まえ、以下のようにタイトルを追加した。 ①アジア諸国との間の国際海上コンテナ輸送 ②基幹公との国際海上コンテナ輸送
8	Ⅵ編 ①民間能力の活用による港湾運営の効率化(P57)	Ⅵ章において、①と②で民間の能力を活用する部分とそうでない部分でわかれているのが曖昧に感じる。	ご指摘を踏まえ、以下のように①の記述の修正を図るとともに、②のタイトルを修正 【①文章】 「港湾運営会社制度により港湾運営の効率化を図るため、港湾運営に係る業務を一元的に担う港湾運営会社と港湾計画の作成、臨港地区内の構築物規制等の港湾管理を行う港湾管理者との連携を確保するとともに、貨物取扱量や利用状況などの運営に係るデータや財務に関する情報等の適宜・適切な開示、港湾運営について民間のガバナンスが十分に発揮されるための民間資本の参加、組織・経営体制の整備等を図る。」 【②タイトル】 ②港湾の効率的な運営を支える協働体制の構築
9	Ⅵ編 ②港湾の効率的な運営を支える協働体制の構築(P58)	国際コンテナ戦略港湾のめざすべき姿において人材確保の記述もあったかと思うが、めざすべき姿に書かれている内容は記述した方がよいのではないか。	ご指摘を踏まえ、「及びこれらに対応するための人材の確保」を以下の通り追加。 「目標の設定・その達成状況の公開などを通じたPDCAプロセスの構築、荷役の効率化、荷主等のニーズへの対応力の強化及びこれらに対応するための人材の確保等に努める。」

※頁数：資料3-4 新旧対照表の頁数を示す。

2. パブリックコメントでの意見と対応①

1. 募集期間 6月22日(水)～6月28日(火)
2. 周知方法 電子政府の総合窓口(e-GOV)ホームページ、国土交通省ホームページ
上記について専門誌による紹介及び地方整備局等から利用者の情報提供
3. 意見提出方法 電子メール、FAX及び郵送
4. 意見数 54
5. 今後の対応 港湾分科会終了後に電子政府の総合窓口(e-GOV)ホームページで公表する。

	該当箇所※	主な意見の概要	対応
1	I 編 2章 ①災害に強い港湾の構築(P13)	「災害に強い港湾の構築」の中で、地震・津波被災時の指令塔として機能しなければならない港湾地区の港湾管理者施設の保全(耐震・対津波施設)と衛星通信設備の確保に触れる必要があると考えます。	ご意見のとおりですが、地震・津波対策として実施すべきことは多岐にわたることから、同頁中、「 港湾の事業継続計画(以下「港湾BCP」という。) の策定」する中で実施される対策も含めて、「 ハード・ソフトの施策を総合的に講ずる。 」という内容でまとめた形で記載することとしています。
2	I 編 2章 ④港湾保安対策の推進(P16)	港湾保安対策の中で、地震・津波被災時の外航岸壁に停泊する船舶の乗組員や船内作業員の緊急避難に対してゲートの開放等についても考慮する必要があると考えます。	地震・津波被災時の外航岸壁に停泊する船舶の乗組員や船内作業員の緊急避難につきましては、I 2 ①「 災害に強い港湾の構築 」(P14)において、「 港内及び港湾背後地の人命等に与える被害を防止・軽減するため、ハザードマップの作成支援、避難場所や避難ルートの確保、津波の来襲等に関する情報伝達手段の提供等を行う 」旨を明記しているところです。
3	I 編 3章 ②地球温暖化への対応(P17)	「地球温暖化防止への対応」中で、国が進めるモーダルシフトの重要性にも触れ、RORO船岸壁の整備を積極的に進める必要性のあることを明記して欲しいと思います。 震災時の支援活動の面からもRORO船は有効なものであると思料します。	いただいたご意見の「モーダルシフトの重要性」については、IV 2 ①「 地球温暖化防止対策 」(P38)において、「 CO2排出量原単位が小さい海上輸送・鉄道輸送への利用転換 」する旨を明記しているところです。 また、震災時においてRORO船等による緊急物資輸送等の活動を支援するため、II 7「 大規模地震対策施設 」(P33)において、「 大規模地震対策施設を適切に配置する 」旨を明記しております。
4	V 編 2章 ⑤中部地域(P49～50)	⑤中部地域 この記述の中に、大震災対策について触れておく必要があるのではないか。	ご意見のとおりですが、中部地域に限らず、関東、近畿、四国、九州等でも大震災が発生する危険性が指摘されているところですので、全国的な課題として、「 I 2 ①災害に強い港湾の構築 」(P13～15)のところで大規模災害対策を記載することとしています。

※頁数：資料3-4 新旧対照表の頁数を示す。

2. パブリックコメントでの意見と対応②

	該当箇所※	主な意見の概要	対応
5	I 編 4章 ⑥港湾空間の適正な管理(P21)	「港湾空間の適正な管理」で、“防波堤の釣り利用等の多様なニーズを踏まえ港湾施設の有効活用の観点から適切な管理の取り組みを進める”とありますが、防波堤上の釣り人が高波や船舶の航走波でさらわれる事故や防波堤への渡船の転覆事故が多く発生しています。また、これらの釣り人の現場管理は海上保安庁を含め、港湾管理者にとっても極めて難しい状況にあると考えます。従って、港湾管理の立場から防波堤の釣り利用は無理といわざるを得ず、むしろ、きちんと管理できる釣堀公園の整備を進めることが重要と考えます。	ご指摘の現状につきましては、十分認識しており、安全性に配慮した取り組みが必要であると考えています。ご意見を踏まえ、本文につきましては、以下のとおり修文いたします。 「さらに、防波堤の釣り利用等の多様なニーズを踏まえ、 安全性を確保した上で 、港湾施設の有効活用の観点から適切な管理への取組を進める。」
6	I 編 4章 ⑥港湾空間の適正な管理(P21)	「防波堤の釣り利用等の多様なニーズを踏まえ、港湾施設の有効活用の観点から適切な管理への取組を進める」という点において、港湾施設を多くの人が正しく、安全に利用するために大変重要なことであると思えます。ぜひ、施設、整備等をはじめ整備をすすめていただきたいです。	ご意見の通り、地域の活性化、人の交流の活性化には、港湾の果たす役割(有効活用)が高いと考えております。本文にも記載しているとおり、 防波堤の釣り利用等の多様なニーズを踏まえ、安全性を確保した上で、港湾施設の有効活用の観点から適切な管理への取組を進めてまいります。
7	I 編1章(2)「臨海部の産業立地・活動環境の向上」(P10)	港湾区域での交通渋滞を大至急解消して下さい。岸壁が整備されれば必然的に、物資を運送するためのトラック、トレーラが集ることになります。港湾区域に出入りするトレーラ、トラック類の大型車両の混雑・渋滞が激しいために、港湾区域の環境悪化、さらには、一般車両の交通渋滞、交通事故の多発へとつながっています。港湾エリアでの交通混雑の緩和、特に大都市圏での交通混雑の緩和は国家的に至急対応すべきです。	ご指摘の港湾エリアでの交通混雑の緩和については、 I 1(2)「臨海部の産業立地・活動環境の向上」(P10)において、「幹線道路網とのアクセスの確保について関係機関と連携して取り組む」 旨を明記しているところです。 今後、本方針に基づき、港湾における交通渋滞の緩和に向け、関係機関と連携して進めていきたいと考えています。
8	I 編2章 ①災害に強い港湾の構築」(P13～15)	港湾施設、港湾エリアの防災力の向上を至急望みます。東北関東大震災により壊滅的な被害を受けた港湾の復興は急務です。しかし、次の大震災は関東以西と考えられます。関東から中部、関西において、同様の津波が発生したときの被害は、想像もできません。国家の存亡にかかわる事態になります。今回の津波の規模を想定した、地震・津波対策は国家として責任を持ってやっていただかなくてはなりません。中央官庁としての防災対策に対する強い姿勢を示して下さい。	ご意見の趣旨を踏まえて、 「I 2 ①災害に強い港湾の構築」(P13～15) のところで、発生頻度の低い大規模津波対策を記載しているところです。 今後、本方針に基づき、港湾における地震・津波対策を積極的に進めていきたいと考えています。

※頁数：資料3-4新旧対照表の頁数を示す。

2. パブリックコメントでの意見と対応③

	該当箇所※	主な意見の概要	対応
9	I 編4章②「美しく・文化性に富んだ親しまれる港湾空間の形成」(P18)	<ul style="list-style-type: none"> ・「港町」の復活による観光資源の再構築 四方を海洋に囲まれた我が国では、港を中心として街を作ってきたという歴史があります。港に産業があり、産業があるところに生活基盤がありました。また、横浜、神戸、小樽、函館、青森、下関、長崎など、それぞれに特徴のある港町がありました。現在、街の特徴が急速に失われつつあるように感じます。港湾空間の観光資源としての価値を再度見直して、21世紀における観光資源としての港の価値を高めることも望みます。 	<p>ご指摘の観光資源としての港の価値を高めることについては、I 4 ②「美しく・文化性に富んだ親しまれる港湾空間の形成」(P18)において、「港湾の持つ歴史的・文化的資源、美しい港湾景観といった地域の個性としての港湾の資産を最大限に活かす」旨を明記しているところです。</p> <p>今後、本方針に基づき、関係機関とも連携して観光資源としての港の価値を高めていきたいと考えています。</p>
10	V 章「港湾相互間の連携の確保」(P40～56)	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾間の連携の強化 港湾間の連携の強化については、繰返し記述されており、今回の変更は適切であると思います。 今後我が国が道州制に移行するかは不透明ですが、道州単位での、港湾配置、港湾連携を進めていくべきと思います。防災の視点のみならず、近距離、中距離航路の活性化をいかに進めていくのか、地方行政単位では答えを出すことができません。国家行政として責任を持って進めていただきたいと思ひます。 	<p>港湾の連携については、V「港湾相互間の連携の確保」(P40～56)に明記しているところです。</p> <p>今後、本方針に基づき、関係機関とも連携して地域内、地域間での港湾連携を進めていきたいと考えています。</p>

※頁数：資料3-4新旧対照表の頁数を示す。

3. 港湾管理者の意見と対応

1. 期間 第1回 6月22日(水)～

2. 今後の予定 7月上旬頃 最終意見照会
 答申後 交通政策審議会後に法定協議予定

	該当箇所※	主な意見の概要	対応
1	I 編 4 章 ⑥港湾空間の適正な管理 (P20)	防波堤の釣りを容認する表現になっているが、現段階では釣り人の安全対策が万全ではなく、また、緊急時の避難対応など課題も多い。	ご指摘を踏まえ以下の通り修正。 「さらに、防波堤の釣り利用等の多様なニーズを踏まえ、 安全性を確保した上で 、港湾施設の有効活用の観点から適切な管理への取組を進める。」
2	V 編 2 章 ⑨九州地域 (P53)	・現行は「九州本土と離島の重要港湾が」となっており、九州本土と離島の両方に重要港湾があり問題ない。しかし、改正案では、離島に国際拠点港湾がないのに「九州本土と離島の 国際拠点港湾、重要港湾が 」になっており、離島にも国際拠点港湾があるかのような記述になっている。	ご指摘を踏まえ以下の通り修正。 「離島や半島が多く、東アジア地域と地理的に近接し、また、北部地域を中心に製造業が集積している九州地域では、九州本土の 国際拠点港湾、重要港湾 と離島の重要港湾が連携・・・」

※頁数：資料3-4 新旧対照表の頁数を示す。

4. 関係行政機関の意見と対応①

1. 期間 第1回 6月22日(水)～6月30日(木)

2. 今後の予定 7月上旬頃 最終意見照会

答申後 交通政策審議会後に法定協議予定

	該当箇所※	主な意見の概要	対応
1	I 編2章 ①災害に強い港湾の構築(P14)	「また、発災後、海上輸送機能を早期に復旧させるために、津波漂流物や埋没土砂を速やかに撤去する航路啓開作業等に関する平常時からの関係者間の連携強化等を図る。」を「また、発災後、海上輸送機能を早期に復旧させるために、船舶、コンテナ等が漂流する恐れがある地区では、漂流物防止の措置を講じるとともに、津波漂流物や埋没土砂を速やかに撤去する航路啓開作業等に関する平常時からの関係者間の連携強化等を図る。」と修文されてはどうか。	津波漂流物の防止措置についても、同頁中、「津波漂流物や埋没土砂を速やかに撤去する航路啓開作業等に関する平常時からの関係者間の連携強化等を図る。」という記載に含まれる。
2	II 編5章 ③地域の自立的発展を支える海上輸送網の拠点(P32)	「就航」とは、船や飛行機などがはじめて航路につくこと、の意。従って、本指針で使用することは適当ではないのではないか。「運航率」のほうがより適当な表現ではないか。	ご指摘を踏まえ、「運航率」に修正する。

※頁数：資料3-4 新旧対照表の頁数を示す。

4. 関係行政機関の意見と対応②

1. 期間 第1回 6月22日(水)～6月30日(木)

2. 今後の予定 7月上旬頃 最終意見照会

答申後 交通政策審議会後に法定協議予定

	該当箇所※	主な意見の概要	対応
3	V編2章 ①北海道地域(P45) ③関東地域(P47) ④北陸地域(P49)	<p>(1) 45頁 「…総体として北海道の発展を支える。」の後に「また、北海道の国際バルク戦略港湾は、穀物(とうもろこし)の安定的かつ安価な供給のため、船舶の大型化に対応した港湾機能の確保を図るとともに、東北や北陸地域の港湾や企業との連携を進める。」を追記されてはどうか。</p> <p>(2) 47頁 「…フィーダー輸送の強化を図る。」を「…フィーダー輸送の強化を図るほか、穀物(とうもろこし)の安定的かつ安価な供給のため、北海道の国際バルク戦略港湾と連携し、2港寄り及び3港寄り並びに内航フィーダー体制の構築を図る。」と修文されてはどうか。</p> <p>(3) 49頁 「…航路誘致等の取組みを行う。」の後に「さらに、穀物(とうもろこし)の安定的かつ安価な供給のため、北海道の国際バルク戦略港湾と連携し、2港寄り及び3港寄り並びに内航フィーダー体制の構築を図る。」を追記されてはどうか。</p>	<p>「国際バルク戦略港湾育成プログラム」の策定においては、計画書の内容をブラッシュアップするとともに、国を含めて関係者と調整することとなっており、連携の実現可能性についても改めて精査することとなるため、場合によっては連携の考え方も現行の計画書から変更がありうることから、現段階においては「告示」事項である基本方針に港湾間の連携については記載しないこととしている。</p>
4		<p>変更後の基本方針に適合した港湾計画に定められた内容を港湾管理者たる地方公共団体が実施するに当たり、当該港湾管理者の事務量及び財政負担が増加する可能性があることを含意しているものと理解してよいか。</p>	<p>変更後の基本方針に適合した港湾計画に定められた内容を港湾管理者たる地方公共団体が実施するに当たり、当該港湾管理者の事務量及び財政負担が増加する可能性、減少する可能性のいずれもあり得る。</p>

※頁数：資料3-4 新旧対照表の頁数を示す。